

# 明治38年建造とされる楼門形式の山門 大陸風の形に和風の趣のある山門の天井には二つの龍が描かれています

平民宰相「原敬」は  
大正10年11月11日  
悲しみの雨が降りしきる中  
大慈寺に埋葬されました



原敬の菩提寺。延宝元年（1673）の創建。明治17年（1884）の火災で建物は焼失しましたが、原の援助により山門などが新築されました。

もともと原家の菩提寺は光台寺（浄土宗）でしたが、遺言により自らもここに眠っています。

大慈寺の庫裏には、鎌倉市にあった腰越別荘の居間部分があさ夫人から寄贈され、分割移築されています。室内には西園寺公望の筆による腰越壮の額が今もかけられています。

すぐそばにある大慈寺小学校は昨年創立80周年を迎えました。校章は、原敬の遺徳を子ども達に伝える趣旨で、原家の家紋である「三つ桜」に「大」の文字を挿入したになっています。

